文芸欄

俳句

紅梅会（東灘区）
錆てもの歩みを止める白紅梅　美恵子
たゆまざる歩み頂き春隣　朋子
水仙の島潮香り旅プラン　里子
命つなぐ幾度通ふ片時雨　扶喜子
風冷になほも懍とし水仙花　松子
幼子と福は内と声年の豆　比佐美
散歩のあと老人とむ日向ぼこ　昇智子
水仙の香に諭さるる喪の心　恵

宝愛句らぶ（中央区）
早春の風吹き下ろす千枚田　和子
母の肩さする赤鬼節分会　悦子
長電話急ぎ刻見る日脚伸ぶ　千枝子
遠出にも夕餉にゆとり日脚伸ぶ　道子
蛤にお久し振りと声をかけ　恵子
日脚伸ぶ亡母の杖に語りかけ　丘
縁側のうぐいす餅のツンとして　和志
春となり鶯餅が食べたいね　啓臣

梅の美会（兵庫区）
駅伝の足並み軽し冬景色　山口　茂子
子や孫と残雪眺め丹波路へ　藤田ユイ子
根深汁湯気も馳走と夫を呼ぶ　岡田富早恵
春間近箱に隠れしランドセル　藤井　歌子
笑い咲く今朝の白さや花辛夷　粟野　富江
梅の香を腹いっぱいに蛍烏賊　山田　朝子

青葉クラブ（北区）
古茶啜り古きアルバムめくる夜　馬場みつえ
七度目の干支迎え居り木の芽時　山本　恒雄

高原ささゆり会（北区）
春が来た親子がはじける五月山　松村二三枝
報復の戦火の絶えぬ二月尽　笠井　照子

年賀状今年で仕舞うと遠い友　佐藤かなめ
コミバスを囃し飛び交う燕かな　南　久美子
散る牡丹ひとひらごとに痛みあり　中井　裕子
オリオンよ照らす蕾はまだ固い　尾崎　順子
時はめぐり咲き誇る桜君のいたから　若林　節子

ひまわり句会（北区）
小春日や付かず離れず鴨親子　石井　敏子
厚氷指先しびれ儘ならぬ　辻　寿賀子

ひよどり台句会（北区）
菜の花に小さき手触れ笑顔なり　塩見　光子
うぐいすの幼さ残し初音かな　田中　弘子
恙なく過ぎし一日春の宵　筒井　豊子
紅梅の蕾一気に二分咲きて　中井　光子
針に糸すっと通りて春灯し　矢谷登美子

北斗句会（北区）
覚めやらぬ森にひっそり木の根明く　久松　礼子
風なき日選りて村人提焼く　脇坂有多子
風を読み風に従ふ野焼きかな　秋山　弘之
風花や大連からの直行便　松本　洋子
梅一輪湯治の宿の地獄蒸　増田　嗣夫
三代の句碑に春の日汀子の忌　岸下　庄二
八十の壁乗り越えるピアスかな　藤井久美子
帯締めてホテルのランチ女正月　黒田　久江
婆さんやゆっくり休みや女正月　小段　安徳

見山台新樹会（北区）
ひ孫生る次世代の命想う春　松隈　弘子
春浅き鍬先過ぎるルリビタキ　佐溝満喜子
お水取り修二会の僧のいそがしく　丸尾　嘉子
春よ来い早く来い来い能登に来い　高石　勝行
白梅が玄関またぎ咲きにけり　藤田　和夫
「少しだけ慣れた」のメール梅ふふむ　貞永　弘子
限界村残る我が家の氷柱折る　石本　宏一
陽春の句作り楽し人難し　吉田　勲

桃山台クラブ文芸部（垂水区）
元日に竜のあばれる瓦礫かな　田畑美恵子

梅一輪待つ間の長き時を知る　大上　昭敏

きらく句会（西区）
春風や宝探しの蚤の市　阪本　道子
無気力の我に一撃春の雷　田野　育利
雛飾る事嬉しとも悲しとも　森本　珠実
梅林のどの経ゆけど寺の前　大橋　治子
初蝶や一二三と飛び発てり　尾上　正紀
病みて知る隣家の梅の温かさ　喜田　弘征

◆**個人**
指先に息吹きかけて急ぎ足　（灘）安田奈美江
電車待つ横顔ばかり桜降る　（灘）山上　幸子
軒下の束ねた藁や下萌ゆる　（北）山田キミ子
雪解川十八才の門出かな　（須）福本　和恵
松の露春も間近の雨上り　（垂）藤田　恵子
走り根や路面切り裂き春を告ぐ　（西）寺岡　洋子
晴天に目白飛び交うしだれ梅　（西）濵頭ミノル
冬の雲風に吹かれて七変化　（西）芝田　律子

川柳

桂木ひふみ会（北区）
もしかして人類全滅この乱れ　荒木　宗Q
人類は仲好し子好し皆仲間　京念久美子
地元愛人類愛も同じ愛　笹岡　淑子
地球温暖化人類滅びる危機　杉尾　悦子
人類の次は何かとへぼ思案　大和ケント

筑栄会（北区）
サークルは女性と菓子の見本市　かほう
おやつ食べ痩せる話で盛り上がる　まさこ
一生で最後の試験認知症　三茶
年賀状止めた先からまたも来る　あきら
うでくんで恋人みたい介護です　かおる
ほっといて重いときだけ持っといて　村田
散髪をすましてすっきり男前　よし
試験とは昭和のむかしいま検査　勢似

◆**個人**
若くなったねなるはずないと苦笑い　（東）早川キミエ
この天気鯉も喜ぶ五月晴　（東）増田　芳之
この頃はいびき聞こえてホッとする　（灘）都倉　知子
取組むぞ極めなくとも良しとしよ！　（北）かんいち
つもり違いの国会答弁　（北）北野　利一
追い風で走りたくないのに春一番　（北）宮内美栄子
町中の釘煮の匂い行く末は　（垂）小髙　肇
夕映えが障子に映すつるし柿　（西）藤長　文子

短歌

花山短歌会（北区）
年初より非常事態のその上に
　雪が辛かろ能登の人びと　富田　次夫
しばらくを通わざる道一輪の
　白梅の咲く裏の山道　船崎めり子
朝歩き空気が澄めば気持よく
　楽しみながら歩くたのしさ　礒元カヨ子
ミリよりも小さき種から出た新芽
　プランターで作るわさび葉枯れるなよ　清水　惠子
記憶力衰えてゆく不安増し
　「物忘れ外来」に遂に予約す　山田加壽子
戻り得ね道にひと本穏やかに
　春を咲かせるミモザの大樹　古林　保子

◆**個人**
永き歳月宿せし悔いも忘却の
　心で生きたし残されし日々　（灘）上田　節子
五月晴れ神戸まつりが始まった
　サンバの踊り今年も見れた　（中）朝岡　俊之
うららかな光のどかな窓越で
　ペン持つ指もうたた寝の中　（北）箱守喜久子
愛の色ってモスグリーンにおもえるの
　傘寿の友の上等なコート　（北）眞木香代子
促され躊躇つつもマイク持ち
　忘れ得ぬ歌「長崎の鐘」　（須）江口　啓子
遠く住む男孫の動画に夫と共
　ほほえみ見れば意欲湧きくる　（垂）堀江千生子

もどかしく思ひ返せど年月の
　長きに迷ふ忘却のはて　（西）増田　當代
車中にて能登の地震の黙祷し
　老人会の初詣嬉し　（西）吉野　洋子

とっておきの作品

「花と蝶」
【中央区】二宮新栄クラブ
朝岡　俊之

「春」
【兵庫区】御崎南ビル
ほのぼの倶楽部　衣川　晴子

「春」
【北区】中里楽山会
安井　明美

「とっておきの作品」募集中

会員の皆様から絵はがき＆色紙絵を募集しています。必要事項を記入したものを同封の上、作品をお寄せ下さい。

《必要事項》
①氏名（ふりがな）②クラブ名 ③題名
④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号

※葉書サイズ（100mm×148mm以内）・色紙サイズ（242mm×272mm以内）でお願いします。それ以外は受付できません。
※作品は随時ご返却いたしますが、長期間お預かりする場合がありますのでご了承ください。
※作品は丁重に取り扱いますが、損傷については理由のいかんに関わらず、一切の責任は負いません。

《宛先》
〒650-0016 神戸市中央区橘通3-4-1
KOBEシニアクラブ
「とっておきの作品」係